

3. 事業報告書

事業報告書

平成28年度（平成28年4月1日から平成29年3月31日まで）

(1) 農作物共済関係

(引受)

項目		組合員数	引受面積	引受収量	共済金額	徴収共済掛金	交付金又は 納入保険料	手持共済掛金	
区分		人	a	kg	円	(A) 円	(B) 円	(A)±(B) 円	
水稲	一筆	6,379	668,542	22,073,227	3,767,742,742	22,234,654	12,489,459	9,745,195	
	品質	13	5,449	—	42,186,258	653,454	390,359	263,095	
	計	6,392	673,991	22,073,227	3,809,929,000	22,888,108	12,879,818	10,008,290	
麦	平成28年産	一筆	10	2,259	36,084	4,397,529	136,534	△417	136,951
		災害収入	266	211,451	—	499,524,197	27,173,290	△6,920,036	34,093,326
		計	276	213,710	36,084	503,921,726	27,309,824	△6,920,453	34,230,277
	平成29年産	一筆	8	1,934	29,325	4,766,663	145,926	△484	146,410
		災害収入	264	208,889	—	489,524,119	26,611,781	△6,775,603	33,387,384
		計	272	210,823	29,325	494,290,782	26,757,707	△6,776,087	33,533,794

※ 平成28年産麦引受については、引受変更が生じたため、前年度総代会資料と異なる。

(被害)

項目		被害組合員数	共済減収量	共済金	共済金 共済金額
区分		人	kg	円	%
水稲	一筆	171	78,218	11,981,164	0.3
	品質	0	0	0	0.0
	計	171	78,218	11,981,164	0.3
麦 28年産	一筆	4	2,064	37,972	0.9
	災害収入	208	1,342,919	84,419,563	16.9
	計	212	1,344,983	84,457,535	16.8

(被害概況)

水稲

梅雨明け後、降雨がなく一部地域においては、干害が見受けられました。

また、イモチ病・ジャンボタニシによる被害が管内全域で発生し、山間部においては、イノシシ・シカによる被害、一部地域においては、雹害も発生しました。

麦（28年産）

平成27年12月上中旬の降雨により播種が遅れ、平成28年1月の降雨により、中間管理が不十分で茎数が少ない傾向が見受けられました。

平成28年4月中下旬の降雨により土壌湿潤害も見受けられ、小麦では一部圃場に赤かび病も発生しました。また、多雨による収量減少や品質低下も見受けられました。山間部におけるシカ等の獣害や、一部地域においては、カラスの鳥害も発生しました。

(支 払)

項目 区分	支払月日	実支払共済金 円	共 済 金 支 払 財 源					実支払共済金 共 済 金 %	
			保 険 金 円	手持掛金 充 当 額 円	法定積立金 充 当 額 円	特別積立金 充 当 額 円	その他 円		
水 稻	一筆	28年12月21日	11,981,164	3,594,349	8,386,815	0	0	0	100.0
	品質	年 月 日	0	0	0	0	0	0	0.0
	計		11,981,164	3,594,349	8,386,815	0	0	0	100.0
麦	一筆	28年12月21日	37,972	9,493	34,230,277	9,256,807	0	0	100.0
	災収 害入	28年12月21日 28年12月26日	84,419,563	40,960,958					
	計		84,457,535	40,970,451	34,230,277	9,256,807	0	0	100.0

(損害防止)

水稻生育調査田及び農作物観察員（積算温度計）を設置し、生育状況や作柄状況及び病害虫発生調査の把握により、早期に損害評価に反映するように努めました。

また、職員の損害防止に必要な知識技術習得のため、県連合会が行う品位判定資格者フォロー講習及び福岡県農産物検査協議会が行う技能確認会に参加し、登熟不良等の被害が発生していないか管内の被害状況の把握に努めました。

(2) 家畜共済関係

(引 受)

項目 区分	有資格 頭 数 頭	事業計 画頭数 頭	引 受 頭 数 頭	引受頭数 計画頭数 %	共 済 金 額 千円	徴収共済 掛 金 円	連合会納入		交付金 円	手持共済掛金	
							保険料 円	技術料 円		共済掛金 (甲) 円	共済掛金 (乙) 円
成 乳 牛	670	670	640	95.5	134,455	11,391,961	2,489,901	0	0	3,448,259	5,453,801
育成乳牛	70	70	75	107.1	8,608						
乳用子牛等	880	820	762	92.9	33,477						
肥育成牛	620	620	658	106.1	297,305	1,093,512	332,845	0	0	306,273	454,394
肥育子牛	70	30	1	3.3	74						
他肉成牛	110	100	117	117.0	46,969						
他肉子牛等	120	30	46	153.3	2,312						
計	2,540	2,340	2,299	98.2	523,200	12,485,473	2,822,746	0	0	3,754,532	5,908,195

(事故)

区分	死 廃 事 故			病 傷 事 故		
	頭 数			支 払 共 済 金 円	件 数 件	支 払 共 済 金 円
	死 亡 頭	廃 用 頭	計 頭			
成乳牛	36	37	73	12,281,946	700	8,623,370
育成乳牛	5	0	5	272,088	16	116,480
乳用子牛等	37	2	39	2,061,108	128	1,169,640
肥育成牛	1	0	1	263,205	28	159,510
肥育子牛	1	0	1	90,974	3	18,580
他肉成牛	0	0	0	0	3	31,450
他肉子牛等	0	0	0	0	17	216,210
計	80	39	119	14,969,321	895	10,335,240

(事故発生概況)

死廃・病傷事故の主な原因は、妊娠・分娩期及び産後の疾患（ダウンー症候群等）、泌乳器疾患（乳房炎等）、運動器病（関節炎等）が主な事故の原因です。

(損害防止)

実施項目	対象頭数又は回数 頭	経費概算 円	摘要
特定損害防止	47	148,220	平成28年8月12日～平成28年11月4日 繁殖障害・乳房炎

(3) 果樹共済関係

収穫共済（引 受）

年 度	項 目 区 分	組合員数 人	引受面積 a	標準収穫 金 額 円	共済金額 円	徴収共済 掛 金 (A) 円	交付金又は 納入保険料 (B) 円	手持共済掛金 (A)±(B)円
27年度 (28年産)	なし 半相殺減収総合短縮	9	453.3	26,691,661	18,580,000	353,019	211,441	141,578
	かき 半相殺減収総合短縮	7	202.3	4,288,149	2,980,000	101,320	66,275	35,045
	計	(実) 16	655.6	30,979,810	21,560,000	454,339	277,716	176,623
28年度 (29年産)	なし 半相殺減収総合短縮	9	449.2	25,980,854	18,070,000	342,634	205,360	137,274
	かき 半相殺減収総合短縮	8	348.7	7,212,610	4,980,000	169,320	110,755	58,565
	計	(実) 17	797.9	33,193,464	23,050,000	511,954	316,115	195,839

収穫共済（被 害）

年 産	項 目 区 分	被害組合員数 人	減収金額 円	共 済 金 円	共 済 金 共 済 金 額 %
28年産	なし 半相殺減収総合短縮	0	0	0	0.0
	かき 半相殺減収総合短縮	7	1,778,688	483,400	16.2
	計	7	1,778,688	483,400	2.2

(被害概況)

なし

4月初旬の低温により、結実の少ない品種が見受けられ、6月中旬頃には、一部園地で黒星病が発生しました。また、10月上旬の高温により日焼けによる被害が見られたが影響は少なかった。

かき

6月下旬の大雨で、果実の自然落下が多く見受けられました。7月下旬より高温の日が連日続いた為、果実に日焼けの被害も見受けられ、10月下旬の多雨・高温により、炭疽病の多発及び虫害が発生し、大半の園地で被害を受けた。

収穫共済（支払）

項目 区分	支払月日	実支払共済金 円	共済金支払財源					実支払共済金
			保険金 円	手持掛金 充当額 円	法定積立金 充当額 円	特別積立金 充当額 円	その他 円	共済金 %
なし 半相殺減収 総合短縮	-	0	0	0	0	0	0	0.0
かき 半相殺減収 総合短縮	29年3月2日	483,400	437,518	35,045	0	0	10,837	100.0
計		483,400	437,518	35,045	0	0	10,837	100.0

（４）畑作物共済関係

（引受）

年度	項目 区分	組員数 人	引受面積 a	引受収量 kg	共済金額 円	徴収共済掛 金(A) 円	納入保険料 (B) 円	手持共済掛金 (A)-(B) 円
		全相殺 141	104,092	1,050,377	268,704,438	15,660,480	12,180,384	3,480,096
	計	153	105,137	1,058,546	269,614,404	15,713,717	12,221,792	3,491,925
28年度 (28年産)	大豆	半相殺 9	707	5,568	657,024	33,060	25,713	7,347
		全相殺 145	103,007	917,971	236,491,620	12,129,136	9,433,784	2,695,352
	計	154	103,714	923,539	237,148,644	12,162,196	9,459,497	2,702,699

※ 平成27年産大豆引受については、引受変更が生じたため、前年度総代会資料と異なる。

（被害）

年産	項目 区分	被害組員数 人	共済減収量 kg	共済金 円	共済金
					共済金額 %
27年産	大豆	半相殺 0	0	0	0.0
		全相殺 123	347,869	80,859,357	30.1
	計	123	347,869	80,859,357	30.0

（被害概況）

平成27年7月の降雨により播種の遅れや、発芽不能及び土壌湿潤害が発生しました。

また、梅雨明け後、降雨がなく過乾燥の影響もあり出芽が悪く、平成27年8月25日の台風15号による潮風害や倒伏の被害が発生、山間部では、イノシシ・シカによる獣害も発生しました。

(支 払)

項目 区分			支払月日	実支払共済金 円	共 済 金 支 払 財 源					実支払共済金 共 済 金 %
					保 険 金 円	手持掛金 充 当 額 円	法定積立金 充 当 額 円	特別積立金 充 当 額 円	その他	
27 年 産	大 豆	半 相 殺	年 月 日	0	0	0	513,243	0	4,080,768	0.0
		全 相 殺	28年5月30日	80,859,357	72,773,421	3,491,925				100.0
	計			80,859,357	72,773,421	3,491,925	513,243	0	4,080,768	100.0

(損害防止)

ハスモンヨトウの発生状況を把握するため、フェロモントラップを管内12ヶ所に設置し、頭数調査を実施しました。

また、発生状況を関係機関へ情報提供するように努めました。

(5) 園芸施設共済関係

(引 受)

項目 区分	組 員 合 数 人	引受 棟 数	設置面積 ㎡	共済価額 千円	共 済 金 額					合計 千円
					特定園芸 施 設 千円	附帯 施設 千円	施設内 農作物 千円	撤去 費用 千円	復旧 費用 千円	
ガラス室Ⅱ類	5	7	1,902	25,719	20,573	-	-	-	-	20,573
プラスチックハウスⅡ類	251	852	322,208	565,378	437,589	6,120	-	2,849	5,382	451,940
プラスチックハウスⅢ類	4	5	4,842	19,287	15,428	-	-	-	-	15,428
プラスチックハウスⅣ類(甲)	26	45	30,633	113,128	83,875	5,124	-	1,483	-	90,482
プラスチックハウスⅣ類(乙)	2	2	1,638	4,164	3,330	-	-	-	-	3,330
プラスチックハウスⅤ類	3	5	2,920	13,400	10,719	-	-	-	-	10,719
計	(延) 291 (実) 256	916	364,143	741,076	571,514	11,244	-	4,332	5,382	592,472

項目 区分	徴収共済掛金 (A) 円	納入保険料 (B) 円	手持共済掛金 (A)-(B) 円
ガラス室Ⅱ類	13,879	11,101	2,778
プラスチックハウスⅡ類	3,805,867	3,047,082	758,785
プラスチックハウスⅢ類	100,021	80,014	20,007
プラスチックハウスⅣ類(甲)	171,150	136,904	34,246
プラスチックハウスⅣ類(乙)	9,857	7,885	1,972
プラスチックハウスⅤ類	32,639	26,109	6,530
計	4,133,413	3,309,095	824,318

(被 害①) 平成27年度(統計)実績

項目 区分	被 害			損害の額 円	共 済 金					合 計 円	共済金 金額 %
	組 員 数 人	棟 数 棟	附 帯 施 設 数 基		特定園芸 施 設 円	附帯 施設 円	施設内 農作物 円	撤去 費用 円	復旧 費用 円		
プラスチックハウスⅡ類	60	107	1	13,381,688	10,416,937	24,654	-	124,000	0	10,565,591	2.3
プラスチックハウスⅢ類	1	1	0	76,893	61,514	0	-	0	0	61,514	0.4
プラスチックハウスⅣ類(甲)	8	9	0	826,976	661,407	0	-	0	0	661,407	0.7
計	(延) 69 (実) 66	117	1	14,285,557	11,139,858	24,654	—	124,000	0	11,288,512	1.9

※ 平成28年度に支払った平成27年度被害の撤去費用、被害人数1人、被害棟数1棟、損害の額156,000円、共済金124,000円を含む。

(被 害②) 平成28年度(統計)実績

項目 区分	被 害			損害の額 円	共 済 金					合 計 円	共済金 金額 %
	組 員 数 人	棟 数 棟	附 帯 施 設 数 基		特定園芸 施 設 円	附帯 施設 円	施設内 農作物 円	撤去 費用 円	復旧 費用 円		
プラスチックハウスⅡ類	4	6		775,351	619,441	0	-	0	0	619,441	0.1
プラスチックハウスⅤ類	1	1		49,920	39,936	0	-	0	0	39,936	0.4
計	(延) 5 (実) 5	7	0	825,271	659,377	0	—	0	0	659,377	0.1

(被害概況)

低気圧の通過に伴う突風により、被覆材及び本体のパイプに損害を受けました。

(支 払①) 平成28年度に支払った平成27年度被害の撤去費用及び復旧費用の共済金

実支払共済金 円	共 済 金 支 払 財 源						実支払共済金 共 済 金 %
	保 険 金 円	手持掛金充当額 円	法定積立金 充 当 額 円	特別積立金 充 当 額 円	支払備金 円	その他 円	
124,000	111,600	0	0	0	12,400	0	100.0

(支 払②) 平成28年度に係る共済金

実支払共済金 円	共 済 金 支 払 財 源						実支払共済金 共 済 金 %
	保 険 金 円	手持掛金充当額 円	法定積立金 充 当 額 円	特別積立金 充 当 額 円	支払備金 円	その他 円	
659,377	593,436	65,941	0	0	0	0	100.0

(支 払③) 平成28年度実績の合計①+②

実支払共済金 円	共 済 金 支 払 財 源						実支払共済金 共 済 金 %
	保 険 金 円	手持掛金充当額 円	法定積立金 充 当 額 円	特別積立金 充 当 額 円	支払備金 円	その他 円	
783,377	705,036	65,941	0	0	12,400	0	100.0

(6) 任意共済関係

I 建物・農機具共済

(引 受)

項目 区分	加入数 棟・台	共済金額 千円	共済掛金		平均 共済金額 万円	備 考
			純共済掛金 円	賦課金 円		
火 災	7,927	70,896,300	32,107,186	26,314,907	894	
総 合	920	6,632,000	16,230,683	4,737,337	721	
計	8,847	77,528,300	48,337,869	31,052,244	876	
農機具	740	1,703,570	7,533,635	2,165,323	230	

(事 故)

項目 区分	事故数 棟・台	加入総共済金額 千円	支払共済金 円	主 な 事 故
火 災	14	167,210	674,329	落雷7 給排水設備3 盗難による毀損汚損4
総 合	10	74,000	3,900,937	暴風雨7 地震1 盗難による毀損汚損1 風水台風1
計	24	241,210	4,575,266	
農機具	21	118,000	10,005,359	接触16 異物の巻き込み3 転覆1 盗取1